

これは懇談会での検討用の資料であり決定したものではありません

宮川左岸高水敷利用計画素案

◎基本コンセプト

～子供から大人まで幅広く楽しめる、自然を生かした水辺の空間づくり～

◎基本テーマ

「宮川に学び、宮川で憩い、宮川に親しむ」

◎基本ゾーニング

高水敷を2つの広場と1つのゾーンに分ける。

○スポーツ広場

野球とソフトボール兼用の球場を4面設置。

可倒式のバックネットを置く。内野の表面は土、外野は自生の草を刈り込む。

ベンチ、マウンド、フェールポールを設置。トイレを設置。

飛び砂対策と修景を兼ねて周囲を低木の植栽で囲む。

○多目的広場

自生の草を刈り込む程度とし、あまり手を加えない。

グラウンドゴルフ等に使用する。トイレを設置。

あずまや、ベンチを設置。

○親水空間（自然観察ゾーン）

自然観察用の案内板を設置。

川に近づくための階段を設置。

○遊歩道（園路）

管理用通路を兼ねた遊歩道（園路）で各広場・ゾーンをつなぐ。

○駐車場・駐輪場

県道からの乗り入れの安全性と防犯面を考え、上流側の駐車場を堤防側面に盛土して造成、右折レーンを設置。一般車を高水敷には下さないようなゲート等を設置して規制する。

下流側に坂路と右折レーンを設置。

下流側駐車場Aと園路は車止め等で縁切りし、園路を一般の車が走れないようにする。

ただし、園路は管理用の車が走れるように6m幅で舗装する。

上流側駐車場Bにトイレ、水飲み場を設置。

駐車可能台数は2か所で約300台位になる。（自転車用の駐輪場も併設）

パブリックコメント等を実施し、市民の皆様及び市議会の意見も取り入れながら計画を進めます

宮川左岸高水敷利用計画素案



これは懇談会での検討用の資料であり決定したものではありません

凡 例	
	遊歩ゾーン 150.0m
	遊歩ゾーン 100.0m
	遊歩ゾーン 200.0m

パブリックコメント等を実施し、市民の皆様及び市議会の意見も取り入れながら計画を進めます

主 体 名	宮川左岸高水敷利用計画委員会
設 立 年	令和 3 年 3 月
所 在 地	〒100-0001 東京都千代田区千代田
設 立 日	令和 3 年 3 月 10 日
設 立 者	伊豆市議会 建設委員会